

青根地域の情報(アンケート・サウンディング調査)

相模原市より青根地域に関して行った2つの調査について報告をしました。

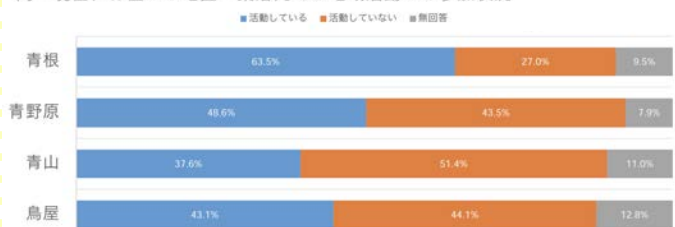
① 中山間地域の地域振興に関するアンケート調査

- 対象：
津久井地区、相模湖地区、藤野地区にお住まいの方（1,895名よりご回答いただきました。）
- アンケート項目：
①地域活動・地域外との交流について
②困っていることや不安に思っていること
③今の地域への居住意向について など

お住まいの地区・集落内での地域活動への参加状況

「活動している」と回答した方が6割以上を占めており、津久井地区を含めた中山間地域10地域の中でも1番高い。

問：現在、お住まいの地区・集落内での地域活動への参加状況



② 旧青根中学校等の有効活用事業にかかるサウンディング型市場調査

- 対象：
旧青根中学校等の有効活用事業に興味のある民間事業者
- サウンディング調査とは？：
事業の検討段階から、民間事業者等との対話を通し、様々なアイデアや意見、市場性の有無を把握する調査です。

有効活用にかかる事業や地域貢献に関するアイデア例

- ✓ トップアスリートを育成するトレーニングアカデミー（中学生寄宿舍兼トレーニング施設）の開校
- ✓ 旧青根中学校を中心とした滞在型の芸術文化創造施設
- ✓ アウトドア・レクリエーション施設の設置
- ✓ ドローンスクールの開催
- ✓ 子育て世代をターゲットとした住宅化 など

参加者の感想（アンケートより抜粋）

- ◆ いよいよ何か生まれそうなワクワク感を感じています。実現の可能性がある企画案が出てきたと思います。青根としての産業ができることが大切と学びました。
- ◆ 今日地域の方だからこその課題から、実現を前提とした、本当に必要としている企画ができたと思います。学生としても参画していきたいと思いました。
- ◆ 青根地域の自立は日本全体の目標。電気の創出から、自然と共生できる暮らしを実現できる唯一の地域。今ある資源と人材と共鳴できる外部の人たちとの協同において、数々の具体的提案を出すことができました。実現への一歩が最大の課題ですが、夢は大きく描けました。

アンケートへのご協力ありがとうございます！

次回開催のお知らせ

- 開催日時：令和3年3月14日（日）10:00～12:00
- 場所：旧青根中学校体育館

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出状況により、中止する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ

相模原市 緑区役所
区政策課 TEL：042-775-8802
青根出張所 TEL：042-787-2511
メール：g-kuseisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

ニュー
第3号

緑区中山間地域振興モデル事業

2021年2月発行

青根のまちづくり検討委員会×法政大学多摩地域交流センター×相模原市

青根地域のこれからを 話し合おう

～第3回ワークショップのご報告～



令和2年12月13日（日）「青根地域をもっと面白くする企画を考えてみましょう！」をテーマに第3回ワークショップを開催しました。

今回も法政大学多摩地域交流センターの学生にも検討に加わっていただき、これまでのアイデアを企画案としてまとめました。第3回ワークショップの概要についてご報告いたします。

中山間地域振興モデル事業の目的

緑区基本計画（令和2年3月策定）に基づき、中山間地域の人口減少への対策や地域振興を推進し持続的なまちづくりを進めるため、青根地域をモデル地区として決めました。地域振興に向けた取組を段階的に実施することとし、今年度は青根地域の資源や特性について再認識し、この環境を将来にわたって保全・活用するために、地域の将来像を描き、地域において今、何ができるかを考える場としてワークショップを開催しています。

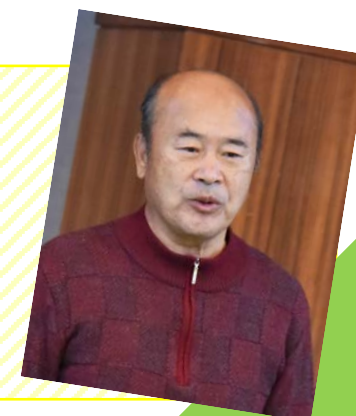
- 第1回：2020年9月27日開催／テーマ：地域の資源（魅力）を知ろう！
- 第2回：2020年11月8日開催／テーマ：地域振興のターゲットを考える
- 第3回：2020年12月13日開催／テーマ：青根地域をもっと面白くする企画を考えてみましょう！

第3回ワークショップの概要

- 開催日時：令和2年12月13日（日）10:00～12:00
- 場所：旧青根中学校体育館
- 参加者：青根地域にお住まいの方、青根地域の関係者の方 計32名
- プログラム：
 1. 開会あいさつ
 2. 青根地域の情報(アンケート・サウンディング調査)
 3. グループワーク
 4. グループワーク結果発表&池田先生講評
 5. 閉会

青根のまちづくり検討委員会 海老根さんあいさつ

今回は3回目となりますが参加されているメンバーも広がり、毎回有意義な会になっていると感じています。若い人の知見もたくさん取り入れながら、先を見据えたより深い議論をしていきたいと思います！よろしくお願いします。



青根地域をもっと面白くする企画を考えてみましょう！ (各グループ検討内容より抜粋)

当日の意見から一部ご紹介します！

青根地域の2020 12.13 (Sat) これから話し合おう！ ワークショップ ③

1班 地域に住んでいる人
ミニコミ誌の作成
・地域の人の顔を知ろう
・地域のおおきな仕事を発見しよう
・移住者や学生が地域を取材し広報誌として取りまとめ住民同士の顔を繋ぐ。

2班 地域に住んでいる人
休耕田をみんなで耕そう！
・休耕田をみんなで耕そう！
・休耕田をみんなで耕そう！

3班 地域に住んでいる人
体験型イベント
・体験型イベント
・体験型イベント

4班 地域に住んでいる人
交通弱者を支援しよう！
・交通弱者を支援しよう！
・交通弱者を支援しよう！

5班 外からの人 (短期・長期)
中学校
・中学校
・中学校

6班 市内の人へ
農作物
・農作物
・農作物

7班 地域の人へ
体験教室
・体験教室
・体験教室

8班 地域の人へ
体験教室
・体験教室
・体験教室

池田先生より

地域の中から外へ発信！！
・ミニコミ誌、ファミリーなど、地域の人へ発信する可能性あり！
・空き家活用のしくみづくり
・水源林
・エネルギー



青根地域に住んでいる人・働いている人のための企画アイデア！

▶ミニコミ誌でつながる企画
地域の人や学生が地域を取材し広報誌として取りまとめ住民同士の顔を繋ぐ。

▶休耕田活用企画
高齢化で維持管理が難しくなった休耕田を再生するための、登録農家サポートの仕組みづくり。

▶楽しく子育て企画
ファミリー世代に対し、保育、見守り、空き家リノベーション等ゆとりを持って子どもを育てられる地域づくり。

▶青根コーディネーター
地域の活動や施設など地域全体をつなげるトータルコーディネーターを育てる取組。

▶移動しやすい青根企画
スクールバス乗合循環バスや免許を持つ若者を活用し、地域の足を確保する。

▶エネルギー企画
青根の森や川を活用して発電し、交通エネルギーや特産品の製造など山の中の循環型社会を確立する。

青根地域に訪れる人・移住者のための企画アイデア！

▶安心して来られる走れる青根企画
バイクやハイカー向け、今ある施設を活用し雨宿りステーション(電源、トイレなど)を整備。

▶青根に住みたくなる企画
空き家を活用し、地域の人との交流や畑仕事体験ができる機会を作り青根に住みたいと感じてもらおう。

▶青根体験企画
これから移住したいと考えている人に対し、短期間旧青根中や空き家へ住んでもらい、生活や人との交流など青根の魅力を体験してもらおう。

青根地域をまだ知らない人のための企画アイデア！

▶神奈川のスイス企画
旧青根中や空き家を法政大学や麻布大学に研究の場として活用してもらい、地域全体が学びのフィールドであることを世界にPRする。

▶おいしいアップルパイ企画
相模原市民やキャンパーに対し、りんご農家さんの指導の元美味しいアップルパイを作り食べる体験を通じて名産品をPRする。

▶青根応援団企画
地域の外の人にも自然や文化施設などの青根地域の資源をPRし、応援したくなる仕組みをつくる。かつて住んでいた人や勤めていた人など青根が好きなたちが集まってもらうための同窓会を開催する。

全体まとめ：第3回ワークショップ検討内容総括

いけだ かんじ
法政大学多摩地域交流センター長 池田寛二先生



地域振興に向けた具体的なイメージが膨らんできました！

ワークショップでの議論も3回を重ねみなさんのアイデアやイメージがどんどん膨らんでおり素晴らしいと感じています。本日のみなさんの議論を聞いて以下の4つのキーワードで整理したいと思います。これらを踏まえてできることから優先順位をつけて実行していくことが重要だと思います。

地域の中から外へ発信していきましょう

たくさんの班から挙げられた情報発信。ミニコミ誌やSNSなど学生の力も使いながらコンテンツも充実させていける可能性があり、現実性が高い方策です。

空き家活用のしくみづくり

これから来る人と今住んでいる人の交流の拠点になると思います。ただ個人間では難しいことがあるので、マッチングできるしくみづくりが重要でしょう。

水源林

水源林という言葉は青根地域特有のブランドと言えます。水源林野菜やそれを提供するマルシェなど、モノやことを通じてPRしていくことが可能です。

エネルギー

これからの社会を見据え、世界規模でキーワードになっている言葉です。青根地域ならではの豊富な自然エネルギーをビジネスに転換できる可能性もあります。